

# ともえ

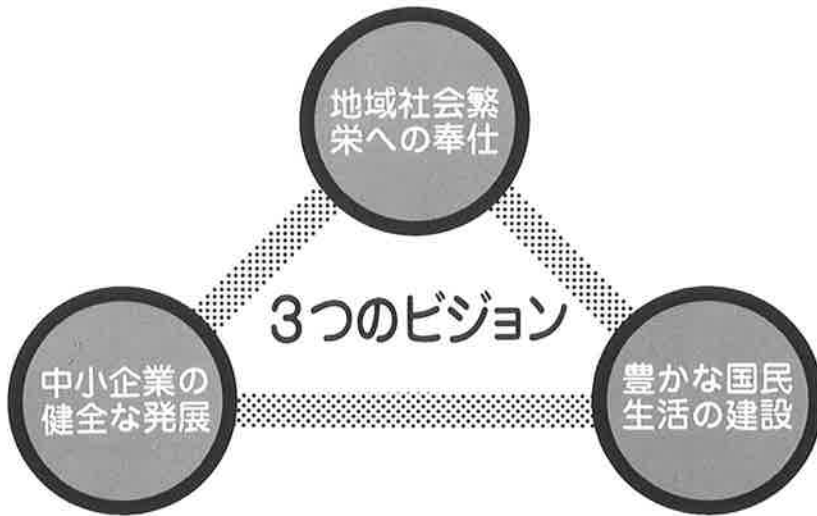
No. 91



■ 函館商工会議所報 ■

1988 10月号

行動する  
はつらつたる  
商工会議所



はこしんは豊かな暮らしと  
確かな未来の実現に  
お手伝いいたします。



本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51-1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生2丁目4番24号	TEL 73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84-2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521(代)			

視点	1
会議所の動き	2
議員・役員一覧	5
事務局日誌	9
地域の景気	10
調査レポート	12
アドバイスコナー	14
Q & A	16
情報コーナー	18
テータイム	20
ご案内	22



※今月号は「特別寄稿」を休ませていただきます。

### ●視点

今年の地域最大のイベント青函博を終えてホッとしたのも束の間、もはや十月も終わろうとしています。

厳しい冬も間近かです。今夏は天候不順で水稻の作況も不良となりましたが、九月中からはますますの天気で、ソウルのオリンピックは恵まれた天候のもとで開催されたようです。今月は十日の体育の日を中心に諸行事が行われています。先般十年前と比較した体力についての発表がありました。これによりますと、中高年層での体力向上が認められる反面、青少年層の体力の伸びはあまりよくなく、低下のはっきりみられる部門もあるとのこと。

現代は車社会で、歩くことが少くなり、基礎体力が落ちる傾向にあるにも拘らず、中高年層、特に女子の体力が向上しているというのは、やはり個人個人が自ら努力していることに、ほかならないと思います。

自らの健康と体力は、自分で維持管理するより他に道はありません。そして、これには日常の絶え間ない努力が大切なことは申し上げる迄もないことです。

「健全なる精神は健全なる身体に宿る」といわれていますが、時と場合により瞬時の高度な判断や厳しい体力を要求されることの多い経営者の方々にとって、まず第一に必要なこの健康と体力は、定期的健康診断と日常生活上における体力増進のための努力を、自ら実行しなければ得られないものであることを自覚され、ぜひ実行し続けていただきたいと思えます。

# 会 議 所 の 動 き



## 川田会頭再選

常議員33人も承認

### 第 1 回 臨 時 議 員 総 会

会頭、副会頭など当商工会議所の役員を選出する第一回臨時議員総会は、十月十一日函館ハーバービューホテルで開催され、満場一致で現川田寛会頭（日本化学飼料㈱代表取締役社長）を再選しました。

総会には出席七十四人、委任状出席二十一人の計九十五議員が出

席、川田会頭が議長役を務め、まず会頭の選任、副会頭（四人）、専務理事（一人）、理事（一人）の選任同意、常議員（三十三人）、監事（三人）選任の六件の人事案件について審議しました。

まず、会頭には現川田会頭を満場一致で選任し、次に副会頭、専務理事、理事については会頭が選任同意を求めた次の方々が満場一致で同意承認されました。

また、選任予定の副会頭加藤憲氏の急逝による副会頭一人の選任については、後日臨時議員総会を開催し決定することになりました。

◎副会頭

村瀬順一郎 ㈱村瀬鉄工所

高野 洋蔵 取締役社長

北海道水産製造㈱函館支店

代表取締役社長

㈱カネマル

下郡山信一

代表取締役社長

◎専務理事 平野 鶴男  
◎理事 中島 茂  
(いずれも再任)

また、常議員、監事の選任については一括して議題とし、五人の委員による選考委員会でも選考することを決定、その結果、選考委員長より次のとおりの選考結果の報告があり、総会でも満場一致で委員長報告のとおり決定されました。選任された常議員、監事は次の方々です。

◎常議員

荻野 清 ㈱棒二森屋

東口 昭 ㈱丸井今井函館支店

安藤 勝見 北海道瓦斯㈱函館支社

若林 利次 函館製網船具㈱

木村勝太郎 函館魚市場㈱

泉 清治 函館空港ビルディング

大越 勝己 ㈱

鈴木 武二 大一興業㈱

田中 仁 美鈴商事㈱

辻才次郎 第二物産㈱

堀田 純一 辻木材㈱

棟方 忠 ㈱ホリタ

東栄㈱

飯田 貢一 ベンケイ綿綽  
 小笠原金悦 綽テオー小笠原  
 佐藤 亀吉 合同容器綽函館工場  
 松本 演之 綽松本組  
 田島 久吉 北海道乳業綽  
 柳沢 勝 綽魚長食品  
 伴 文康 函館バス綽  
 松崎 勉 函館三菱ふそう自動  
 車販売綽  
 西野 鷹志 函館山ロープウェイ  
 西村 敏雄 綽花びしホテル  
 沼崎弥太郎 綽南北海道電子計算  
 センター  
 北村 實 綽北村船具店  
 白戸 利栄 綽山竹鈴木商店  
 藤谷作太郎 兼藤漁業綽  
 河村 澤治 函館トヨペット綽  
 松本 栄一 ホンダメイト函館綽  
 加地彦太郎 綽陶陶亭  
 加藤 隆三 北海興業綽  
 佐藤 悦郎 みかど綽函館営業所  
 山田 典夫 庭本産業綽  
 若山徳次郎 綽五島軒  
 ◎監事  
 鈴岡 孝行 日立北海セミコンダ  
 クタ綽函館工場長  
 川内 康久 日本電信電話綽函館

支社長

青山 繁樹 北海道旅客鉄道綽

取締役函館支社長

次に当日選任された役員を代表して川田会頭が挨拶に立ち、「今日の当地域経済は三月十三日の青函トンネル開業や青函博開催等により大きく拡大への道を進み、また企業の設備投資なども大きく、非常に明るい見通しにある。」

また、当商工会議所へ寄せられる期待にはなお大きなものがあり、開かれた商工会議所として部会・委員会活動を積極的に展開し、会員・議員の方々と一緒に考え、行動して参りたい。

当市への交通機関利用者は陸海空ともに、前年に比較して十から三十パーセント台の伸びを示し、函館経済に及ぼした影響は大きく、今後共、交通アクセスの変化が当地域にもたらす影響には大きなものがある。国においても四全総の中心において、青函インターロック交流圏構想が明示され、青函トンネル開通後の東北北部と道南地域の一体化が、交通体系の整備により促進されることが述べられて

いる。

また観光面では観光資源や基盤の整備も進んでいるが、なお一層の努力が必要である。さらに、広域観光圏として東北と一体となり、新幹線の盛岡―青森間建設を実現するための陳情活動を積極的に展開するとともに、函館までの乗入れ実現のため粘り強く運動を進めていく必要がある。

次にテクノポリスについては、地場産業の振興と企業誘致という二本の柱で今後とも推進していく

## 「企業採算の考え方」とらえ方」セミナー開催

本所中小企業相談所主催による経営セミナーが去る十月六日、本所会議室において開催されました。講師の(社)日本経営士会東京支部 常任幹事 赤池知保氏は現職である東京(株)昭和会計事務所において約二百五十社について調査や診断指導(社員教育を含む)を行っており、また各地講演会においても実践的な指導を中心に幅広い分野にわたって活躍している人です。

必要があり、トンネル開通により本州との一体感も生じ、青函地域への認識も変わってきており、これが日本電波工業の誘致にもつながったともいえる。

こうした中で、今後地域としてはウォーターフロントの開発なども課題も多く、当商工会議所としてもこれら各界からの期待にも応えるため気持ちも新たに、議員・会員の皆様方と共に力強く明るい住みよいまちづくりへ向け、努力してまいりたい」と述べました。

当日の講習会には、経営者、管理職を中心に四十名が参加、熱心に企業採算の実務について聴講しました。その中で赤池講師は、収益性の意味と考え方、資産利回りのとらえ方、自己資本の充実法等について、およそ2時間半にわたってそのノウハウを披露、会場の熱気溢れるなかで受講者を十分満足させ、盛会裡に閉講しました。

# 一号議員50人が確定 新人7人を含む新陣容でスタート

## 一号議員(五十人)

任期満了に伴う本所  
一号議員の選挙は、議  
員選挙・選任日程に基  
づいて九月二日被選挙  
人立候補(立候補)の  
届出受付を開始し、九  
月十二日に締切りまし  
たが、立候補者は定数  
である五十人と同数と  
なるとともに、立候補  
辞退最終日の九月十七  
日に於て辞退の申し出  
がないことから、全員  
無投票で当選が確定し  
ました。

なお、定数五十人の  
新旧別は現議員四十三  
人、新人七人で、任期  
は昭和六十三年十月一  
日から同六十六年九月  
三十日までの三年間  
です。

一号議員は次の通り

会 社 名	氏 名
㈱北村船具店	北村 實
㈱不二屋本店	名取 喜昭
㈱はいや	灰谷 清
㈱陶陶亭	加地 彦太郎
㈱菅原組	菅原 岩夫
キングハイヤー㈱	今川 重男
小島商事㈱	小島 悦郎
兼藤漁業㈱	藤谷 作太郎
㈱仲煌商事	小坂 昭一
㈱湯の川プリンスホテル	河内 孝夫
共栄運輸㈱	斉藤 鉄男
㈱近藤商会	池見 厚一
ホンダメイト函館㈱	松本 栄一
函館米穀㈱	石上 伊佐男
㈱ユニークショップつしま	対馬 孝一
竹林漁業㈱	竹林 勝三郎
小熊水産倉庫㈱	小熊 勝夫
㈱ニュー糸平	中澤 真一
北海興業㈱	加藤 隆三
㈱山竹鈴木商店	白戸 利栄
㈱北海道相互銀行函館支店	藤井 政幸

函館木工品製作販売(有)  
 ㈱テーパーオースイミングスクール  
 ㈱五島軒  
 函館信用金庫  
 ㈱菅製作所  
 函館旅館組合  
 ㈱斉藤組  
 庭本産業(有)  
 みかど(有)函館営業所  
 真鉄工業(有)  
 東一函館青果(有)  
 ㈱若松屋衣裳店  
 布目水産食品冷蔵(有)  
 ㈱丸又和田商店  
 函館トヨベツト(有)  
 ㈱長門出版社  
 豊山食品(有)  
 ㈱森川組  
 ㈱北洋相互銀行函館支店  
 ㈱精養軒  
 ㈱鮎金総本店  
 ㈱弘告社  
 一位物産(有)  
 丸栄堀川紙器(有)  
 ㈱函館ハーバービューホテル  
 ㈱道南食肉センター  
 函館コンピュータ機器販売(有)  
 ㈱ホテル函館ロイヤル  
 ㈱棒上武井漁業

近藤 純悦  
 小笠原 孝  
 若山 徳次郎  
 森 迪康  
 菅 鉄夫  
 福田 強  
 斉藤 八郎  
 山田 典夫  
 佐藤 悦郎  
 倉崎 六利  
 木戸 辰夫  
 中野 亮  
 石黒 義男  
 和田 一明  
 河村 澤治  
 長門 一也  
 豊山 秋央  
 森川 基嗣  
 友原 善一郎  
 杉村 吉彦  
 松崎 静保  
 外崎 二保  
 村上 幸輝  
 堀川 昭雄  
 近藤 昭二  
 吉村 昭二  
 山村 幸生  
 大桐 幸右門  
 武井 忠徳

# 函館商工会議所議員 役員一覽表

昭和63年10月20日現在

(定数)

3号議員 15人 会 頭 1人 常議員 33人  
 2号議員 35人 副会頭 4人 監 事 3人  
 1号議員 50人 専務理事 1人 理 事 1人

[注] ○内数字は号別、㊦は常議員、アイウエオ順。



日本化学飼料  
代表取締役社長  
川田 寛 ㊦③



㈱村瀬鉄工所  
取締役社長  
村瀬 順一郎 ㊦②



北海道水産製造㈱  
函館支店  
代表取締役社長  
高野 洋蔵 ㊦②



㈱力ナマル  
代表取締役社長  
下郡山 信一 ㊦②



函館商工会議所  
平野 鶴男



函館商工会議所  
中島 茂



布日水産食品冷蔵㈱  
代表取締役  
石黒 義男 ㊦①



函館空港ビルディング㈱  
代表取締役専務  
泉 清治 ㊦③ ㊦



キングハイヤー㈱  
代表取締役  
今川 重男 ㊦①



㈱ホテル函館ロイヤル  
取締役  
大桐 幸右工門 ㊦①



大一興業㈱  
代表取締役  
大越 勝巳 ㊦② ㊦



北海道瓦斯(株)函館支社  
専務取締役支社長  
安藤 勝見 ㊦③ ㊦



ベンケイ綿㈱  
代表取締役  
飯田 貢一 ㊦② ㊦



㈱近藤商会  
代表取締役社長  
池見 厚一 ㊦①



㈱北海道拓殖銀行函館支店  
支店長  
石井 正之 ㊦③



函館米穀㈱  
代表取締役社長  
石上 伊佐男 ㊦①



日立北海セメント㈱  
函館工場 工場長  
鈴木 孝行



日本電信電話(株)函館支社  
支社長  
川内 康久



北海道旅客鉄道(株)函館支社  
取締役支社長  
青山 繁樹



北海道輸出入協同組合  
理事長  
阿部 文男 ㊦②



函館商工信用組合  
理事長  
荒井 孝一 ㊦②

(株)シャックス  
顧問  
大沼 平八郎 ③



(株)デーオー小笠原  
代表取締役社長  
小笠原 金悦 ② (常)



(株)デーオースイミング  
スクール 代表取締役社長  
小笠原 孝 ①



小龍水産倉庫(株)  
代表取締役社長  
小龍 勝夫 ①



(株)樺一森屋  
代表取締役社長  
荻野 清 ③ (常)



(株)陶陶亭  
代表取締役  
加地 彦太郎 ① (常)



北海興業(株)  
代表取締役社長  
加藤 隆三 ① (常)



(有)湯ノ浜  
代表取締役  
金道 太朗 ②



日本通運(株)函館支店  
支店長  
鎌田 徹 ③



(株)湯の川プリンスホテル  
代表取締役社長  
河内 孝夫 ①



函館トヨペット(株)  
代表取締役社長  
河村 澤治 ① (常)



(株)北村船具店  
代表取締役社長  
北村 實 ① (常)



東一(株)函館青果  
代表取締役社長  
木戸 浦辰 夫 ①



函館魚市場(株)  
代表取締役社長  
木村 勝太郎 ③ (常)



真鉄工業(株)  
代表取締役社長  
倉崎 六利 ①



(株)高木組  
代表取締役社長  
黒田 憲治 ②



(有)仲煌商事  
代表取締役  
小坂 昭一 ①



小島商事(株)  
代表取締役社長  
小島 悦郎 ①



北海道電力(株)函館支店  
支店長  
小林 一三 ③



函館木工品製作販売(有)  
取締役社長  
近藤 純悦 ①



(株)函館ハービーホテル  
専務取締役総支配人  
近藤 章二 ①



(株)西友函館西武店  
店長  
近藤 信一 ②



みかど(株)函館営業所  
北海道地区担当取締役  
佐藤 悦郎 ① (常)



合同容器(株)函館工場  
監査役  
佐藤 亀吉 ② (常)



井栄運輸(株)  
代表取締役社長  
斉藤 鉄男 ①



(株)斉藤船組  
代表取締役社長  
斉藤 八郎 ①



(株)山竹鈴木商店  
取締役会長  
白戸 利栄 ① (常)



(株)菅製作所  
代表取締役  
菅 鉄夫 ①





(株)菅原組

菅原岩夫①  
代表取締役



(株)精養軒

杉村吉彦①  
代表取締役社長



北海道日産化学(株)

鈴木啓記③  
取締役社長



(株)湯の川グランドホテル

鈴木恵子②  
代表取締役社長



美谷商事(株)

鈴木武二②  
代表取締役社長



日盛漁業(株)本社函館事務所  
所長

敦沢順吾③



(株)定海汽船(株)

瀬戸山幸男②  
代表取締役専務



函館つく(株)函館造船所

相馬宏二③  
代表取締役副社長



ダイ力(株)

大総一郎②  
相談役



(株)樺上武井漁業

武井忠徳①  
代表取締役社長



竹林漁業(株)

竹林勝三郎①  
取締役社長



北海道乳業(株)

田島久吉②  
代表取締役社長



第一物産(株)

田中仁②  
代表取締役社長



(株)北海道銀行函館支店

玉井敏郎③  
支店長



函東工業(株)

津村英輔②  
専務取締役



(株)ユニークショップしま

対馬孝一①  
代表取締役社長



辻木材(株)

辻才次郎②  
代表取締役社長



(株)弘吉社

外崎静二①  
常務取締役



(株)北洋相互銀行函館支店

友原善一郎①  
支店長



丸卜豊山食品(株)

豊山秋央①  
代表取締役



(株)不二屋本店

名取喜昭①  
代表取締役



(株)ユニー丞平

中澤真一①  
代表取締役



五稜郭タワー(株)

中野豊②  
専務取締役



(株)若松屋衣袋店

中野亮①  
代表取締役社長



(株)長門出版社

長門一也①  
代表取締役社長



(株)函館山ロープウェイ(株)

西野鷹志②  
代表取締役社長



(株)花びしホテル

西村敏雄②  
代表取締役会長



(株)南北海道電子計算

沼崎弥太郎②  
代表取締役





(有)はいや  
代表取締役  
灰谷 清①



(株)ニールック  
代表取締役社長  
八田 俊男②



函館バス(株)  
代表取締役社長  
伴 文康②(常)



(株)丸井今井函館支店  
取締役支店長  
東口 昭③(常)



鈴屋商事(株)  
取締役社長  
平形 隆司②



函館旅館組合  
組合長  
福田 強①



(株)北海道相互銀行函館支店  
支店長  
藤井 政幸①



兼廣(株)  
代表取締役社長  
藤谷 作太郎①(常)



丸栄堀川紙器(株)  
取締役社長  
堀川 昭雄①



(株)ホリタ  
取締役会長  
堀田 純一②(常)



前側石油(株)  
代表取締役  
前側 内匠②



函館三菱ふそう自動車販売(株)  
取締役会長  
松崎 勉②(常)



(有)銘金総本店  
代表取締役社長  
松橋 保①



ホンダメイト函館(株)  
代表取締役  
松本 栄一①(常)



(株)松本組  
取締役社長  
松本 演之②(常)



(有)和光ヒル  
代表取締役  
三宅 至②



東栄(株)  
代表取締役会長  
棟方 忠②(常)



一位物産(株)  
代表取締役社長  
村上 幸輝①



(株)森川組  
代表取締役社長  
森川 基嗣①



函館信用金庫  
理事長  
森 迪康①



(株)魚長食品  
代表取締役  
柳沢 勝②(常)



庭本産業(株)  
代表取締役社長  
山田 典夫①(常)



函館コンピュータ機器販売(株)  
代表取締役  
山村 幸生①



(株)道南食肉センター  
代表取締役  
吉村 昭二①



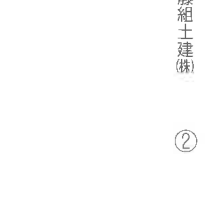
(株)丸又和田商店  
代表取締役社長  
和田 一明①



函館製網船員(株)  
代表取締役社長  
若林 利次③(常)



(株)五島軒  
代表取締役会長  
若山 徳次郎①(常)



加藤組土建(株)  
②



# 事務局日誌

9月

**\* 正副会頭会議**

- 1(木) 第59回正副会頭会議
- 19(月) 第60回正副会頭会議

**\* 会議 (日商)**

- 8(木) 小企業等経営改善資金融資制度に係る運用推進研究会

**\* 会議 (道商連)**

- 6(火) 第23回北海道・東北商工会議所連絡会議
  - ◇ 会頭・副会頭会議
  - ◇ 第99回常議員会
  - ◇ 第107回臨時会員総会
- 26(月) 第133回全道商工会議所専務理事・事務局長会議

**(総) 審査会**

- 13(火) 小企業等経営改善資金の審査会
- 29(木) ◇ ◇

**\* 諸会議**

- 1(木) 日本関税協会函館支部、函館通関業会、函館税関管内両登商協議会三者の在函役員と函館税関幹部との懇談会
  - ◇ 函館管工事業協同組合連合会全道大会
- 2(金) (財)テクノポリス函館技術振興協会と函館地域における行政機関等との事務連絡会議
- 5(月) 成功させよう青函博の役員会
- 6(火) 札幌商工会議所婦人会と本所婦人会との懇談会
- 8(木) 昭和63年第3回テクノポリス開発機構連絡会議研究会
  - ◇ (社)北海道信用金庫協会、中小企業経営改善協議会
- 12(月) (財)港湾空間高度化センター、函館港再開発調査委員会
  - ◇ 婦人会例会
  - ◇ 函館販売士協合理事会
- 13(火) 中小企業労働災害防止対策懇談会
- 14(木) (財)テクノポリス函館技術振興協会昭和63年度第2回理事会
  - ◇ 日本社会党道本部第6回地域道政懇話会
  - ◇ 函館市情報公開制度懇談会
- 16(金) 函館経営者協会幹事会
- 19(月) 道南地区労働保険事務組合連合会昭和63年度通常総会
  - ◇ 議員会役員会
- 20(火) 自由民主党北海道支部連合会移動政調会・地域政策シンポジウム
  - ◇ 「税を知る週間」協議会
- 21(水) 北海道経営者協会武井正直会長を囲む懇談会
- 22(木) 小企業経営改善資金貸付に係る経営指導員と国民金融公庫との連絡協議会
- 24(土) 開港130年記念函館港まつり反省会

- 26(月) 函館港利用促進協議会幹事会
- 27(火) 秋田県北部地域雇用開発会議視察団との懇談会
  - ◇ 所報「ともえ」No.91(10月号)編集会議
- 28(水) 財政金融懇談会
  - ◇ 昭和63年度第3回小規模企業振興委員連絡会議
- 29(木) 議員懇話会

**\* 陳情・要望**

- 21(水) 第38回全道商工会議所大会並びに第23回北海道・東北商工会議所連絡会議決議事項に基づく中央陳情

**\* 講習・催物**

- 3(土)~10(月) 10(月) 豊饒なるインド美術展
- 4(日) 技能士と市民の集い
- 13(火) 札幌学院大学講演と音楽の夕べ
- 14(水) 函館経営者協会セミナー
  - 「すぐに役立つ社会保険・労働保険の実務講座」
  - ◇ 経営相談
- 14(水)~19(月) 第11回おいでやす大京都まつり
- 21(水) 北海道障害者雇用促進・勤労障害者激励大会
  - ◇ 発明相談
- 22(木)~27(火) 第6回ポスターデザイン公募展
- 29(木) 法律相談
- 30(金)・10月1(土) 道立工業技術センター開所2周年記念「'88ハイテックフェスティバル」

**\* 刊行物**

- 20(火) 所報「ともえ」No.90(9月号)

**\* 相談・診断**

- 金融 112 税務 41 経理 25 経営 44
- 労働 15 取引 1 その他 4 計 242

**\* 貸室**

- 本館 34 別館 11

**\* 文書**

- 受信 212 発信 9

**\* 表彰・その他**

- 2(金)~5(月) 第43回国民体育大会開催状況調査
- 3(土) 函館大谷学園創立100周年記念式典、祝賀会
  - ◇ 海上自衛隊水艦「しらせ」艦上レセプション
- 4(日) 第46回全道球算競技大会
- 5(月) 藤岡敏彦先生函館市功労者表彰祝賀会
- 7(水) 函館米穀(株)社屋落成祝賀会
  - ◇ 第23回北海道・東北商工会議所連絡会議エキスカーション
- 8(木) 函館繊維商組合清遊会
- 9(金) 市民憲章運動推進第23回全国大会
- 11(日) 函館東ライオンズクラブ創立30周年記念式典・祝宴
- 13(火) ホテル函館ロイヤル改築披露宴
  - ◇ 大京都展実行委員会役員表敬訪問
- 16(金) 第6回函館花供養祭
- 18(日) 青函博閉会式
  - ◇ パンダ館さようならイベント
- 20(火) 「十和田」から「ジャパニーズ・ドリーム」披露宴
- 27(火) 古河商工会議所ウォーターフロント計画視察団来函
  - ◇ 昭和63年度障害者職場見学会

65年の伝統と信用を誇る

## 早川特許事務所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害

所長 弁理士 早川 政 名

〒112 東京都文京区白山5-14-7 早川ビル 電話 (03) 946-0531 <代表>

発明相談 11月16日 水曜日午前10時から午後5時まで、函館商工会議所で相談をお受けいたします。相談は予約制になっていますので、商工会議所相談課(23-1181・内線63番)にお申し込み下さい。

堅調。この間、軟化傾向にあった市況も安値インドネシア製品の流入減等から下げ止まり気味。一方、漁網では、イカ刺網の更新需要は比較的順調なものの、主力北洋スケトウ漁用底引網の引き合いが低調なため生産は引き続き抑制。

#### (4)建設関連

公共工事の発注額は高水準の前年を下回った（主要5官庁の8月中発注額前年比△34.1%、年度初来発注額累計同+3.3%）。新設住宅着工も、分譲・賃貸マンションは順調ながら、一戸建住宅の落ち込みから増勢は鈍化している。もっとも、土木・建築筋では企業の設備工事が増加していることもあって、手持ち受注残は高水準で、引き続き繁忙裡に推移。このため、生コン等建設資材の出荷も堅調なほか、セメントも高水準の生産を持続。

#### (5)農 業

収穫中の馬鈴薯や野菜（大根、ネギ等）などの畑作物は平年作の見込みで、価格も本州産地の不作を映じて総じて高値に推移している。もっとも、主力水稻は生育が「かなり不良」（渡島・松山支庁調べ）で、先行生育遅れに伴う冷害が懸念されている。

#### (6)漁 業

近海マイカ漁は、日本海側が豊漁、太平洋側が不漁と明暗を分けており、全体の水揚額も魚価安から豊漁の前年を大幅に下回っている。一方、真コンブは、採取量が天候不順等から前年をやや下回ったものの、品薄により高値で取引されているため、販売金額では前年を上回る模様。

#### (7)消費関連

8月中の市内大型小売店(10か店)の売り上げは、休日減(日曜日が前年比1日減)にもかかわらず、秋物衣料の出足が好調であ

ったほか、家具等も催事の奏効から好売れ行きを示したため、前年比4.8%の増加。

9月入り後も秋物衣料品、食料品を中心に比較的順調に推移している模様。一方、耐久消費財では、家電販売は前年の高水準もあって、増勢が一服しているが、自動車販売は商用車が好調なほか、小型乗用車もディーラー筋の抜販努力の奏効から高伸したため、3か月振りに2桁台の伸び（8月中の管内新車販売台数前年比+11.7%）。

この間、観光・レジャー面をみると、青函博入場者数は天候不順が響き当初見込みを下回った（入場者数累計メイン会場120万人、パンダ会場26万人）ものの、観光客の入込み増から観光施設、ホテル、土産物店や交通機関等はいずれも活況裡に推移。

### 3. 金融事情（8月中）

○実質預金は、法人筋の大口定期等自由金利預金や年金（厚生、国民）の流入を主因に月中63億円増加したものの、増加額は前月末休日に伴い滞留した法人流動性預金の剥落から前年(110億円増)比大幅縮小。一方、貸出は、前月末休日に伴う高止まり分の回収がみられたものの、水産加工の原魚買付資金、建設、卸・小売等の増運需資が強く、月中42億円の増加(前年40億円増)。

この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、長期プライムレートの引き上げ等を映じて月中+0.003%と3か月振りに小幅上昇(前月△0.012%)。

○銀行券は、夏場観光・レジャー資金の順調な還流を主因に69億円の大増収超(前年同36億円)。

○財政収支は、公共事業関係費の支払が増加したものの、租税、保険等の受け入れが嵩んだため、月中1億円の受超(前年同7億円)。

8月

昭和63年9月29日

地域の

景況

## 日本銀行函館支店

## 1. 概況

○最近の管内経済動向をみると、水稻不作の影響が懸念されているものの、個人消費、設備投資等を中心とした需要の好調持続を背景に、企業の売り上げ、生産は高水準に推移しており、経営者の景況感も一段と好転するなど、管内景気は引き続き好調裡に推移している。

○すなわち、製造業では旺盛な需要を背景に、電子部品が能力増強投資等により増産体制を一段と強化しているほか、製缶・合板機械、乳加工品、段ボール等でも外注、時間外勤務等により引き続きフル操業。また、非製造業では、土木・建築筋が高水準の手持ち受注残を抱え、繁忙裡に推移しているほか、百貨店売り上げ、自動車販売も堅調な伸び。さらに、観光面では観光客の入込みは好調で、観光関連筋は引き続き活況裡に推移。

この間、雇用情勢は引き続き改善基調を辿っているが、このところ進出企業の求人が目立っている。

こうした状況下、8月に実施した管内企業短期経済観測調査結果をみると、大方の先が増収・増益基調を維持しており、企業の業況判断も前回調査に比べ良好感が一段と強まっている。こうしたことから、63年度設備投資計画は製造業の増額修正を中心

に前年度を大幅に上回る見通し。

○金融面をみると、預金は法人筋の大口定期等自由金利預金や年金の流入を主因に順調であったほか、貸出も水産加工、建設、卸・小売の増加運転資金を中心に堅調。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は長期プライムレートの引き上げ等を映じて3か月振りに小幅上昇。

## 2. 主要業種別動向

## (1) 機械

電子部品では、小型OA機器の好売れ行き等を背景に受注が増加の一途にあるため、一段の能力増強投資等により増産体制を強化。また、製缶・合板機械でも高水準の受注残を抱え、外注、時間外勤務等により目一杯のフル操業を継続。その他機械では、橋梁、荷役機械等大型構造物や、アルミ漁船等小型船が引き続き堅調。

## (2) 食料品

水産加工では、夏場の好売れ行きを眺め、先行きについても大方の先が強気の見方で、比較的高目の生産を実施。この間、主力製品ソフトさきいかの原魚（ムラサキイカ）の価格が不漁により高値を呼んでいるため、9月入り後製品価格の値上げに踏切っている。また、乳加工品では、需給引締まりの練乳等の荷動きが引き続き活発なうえ、市乳の売れ行きも順調なため、生産、出荷とも好調。一方、飼料・魚油では、原魚イワシの浜値高もあって生産は抑制気味ながら、魚油の輸出商談は国際穀物市況の上伸等を映じて比較的活発。

## (3) その他製造業

段ボールでは、収穫期を迎えた青果物向け（馬鈴薯、大根等）を中心に出荷が好調なため、時間外勤務の拡大等により目一杯のフル生産を実施。また、合板でも、家具・家電向け高級品を中心に生産、出荷とも

各店が販売する小売品別の月別売上高の推移

区分	百貨店			百貨店内店			元町家内店			公舎			百貨店外			ロープウェイ		
	62年	63年	63/62	62年	63年	63/62	62年	63年	63/62	62年	63年	63/62	62年	63年	63/62	62年	63年	63/62
3月13日～3月31日	0,001	10,571	210.1	5,008	8,801	175.7	3,244	7,607	234.5	3,355	6,761	201.5	449	1,104	245.9	—	—	—
4月計	16,115	20,003	178.7	5,004	9,006	178.7	4,087	10,176	208.2	4,067	8,146	200.3	577	1,679	291.0	11,900	32,992	277.2
5月計	83,108	91,891	114.1	10,523	20,902	198.0	30,535	46,925	153.7	25,195	20,070	118.6	5,689	10,233	186.4	51,826	160,784	293.3
6月計	73,405	94,057	129.2	14,200	18,130	127.7	19,745	34,409	174.3	10,086	24,750	131.1	5,917	10,780	182.2	39,859	96,285	241.6
7月計	77,061	101,289	130.1	26,328	31,056	118.0	23,025	37,755	160.5	21,421	31,872	130.5	10,306	16,704	162.1	46,774	147,730	315.4
8月計	127,291	138,051	107.5	68,804	87,176	126.6	43,191	72,704	168.5	40,204	51,243	106.2	27,202	33,754	123.7	116,533	239,866	205.8
累計	386,744	475,362	122.9	158,027	183,151	115.9	125,427	209,656	167.2	121,189	152,650	122.9	50,300	74,251	148.4	269,892	677,657	251.1

(注) ロープウェイは、昭和63年4月21日より営業開始し、前年比較は前年4月21日以後の対比。

フェリー一車台送る車両台数の推移

区分	車台～青森			車台～大田			車台～野辺地			合計		
	62年	63年	63/62	62年	63年	63/62	62年	63年	63/62	62年	63年	63/62
3月13日～3月31日	10,650	12,041	113.1	269	292	108.6	404	354	87.6	11,323	12,687	112.0
乗用車	1,059	1,697	154.4	201	220	109.5	83	82	98.0	1,363	1,990	144.5
貨物	9,551	10,344	108.3	68	72	105.0	321	272	84.7	9,940	10,688	107.5
4月計	25,090	29,507	117.6	1,025	1,274	124.3	1,405	1,370	93.5	27,580	32,151	116.6
乗用車	5,317	8,448	158.9	736	985	133.8	292	302	104.2	6,345	9,825	154.8
貨物	19,773	21,059	106.5	289	289	100.0	1,173	978	83.4	21,235	22,326	105.1
5月計	28,344	36,702	129.5	2,038	2,424	118.9	1,609	1,710	106.3	31,991	40,836	127.6
乗用車	0,704	14,038	143.5	1,608	2,118	131.7	451	868	147.1	11,846	16,824	142.0
貨物	18,560	22,661	122.1	430	306	71.2	1,155	1,042	90.2	20,145	24,012	119.2
6月計	25,708	30,276	117.8	1,755	1,611	91.8	1,466	1,330	91.3	28,929	33,225	114.9
乗用車	6,197	8,098	129.9	1,361	1,280	94.0	267	272	101.9	7,825	9,600	122.7
貨物	19,511	22,228	113.9	394	331	84.0	1,199	1,066	89.9	21,104	23,625	111.9
7月計	31,319	37,015	118.2	2,187	2,678	122.5	1,807	1,452	80.4	35,313	41,145	116.5
乗用車	10,259	14,052	137.0	1,851	2,357	127.3	427	362	84.8	12,537	16,771	133.8
貨物	21,060	22,963	109.0	336	321	95.5	1,380	1,090	79.0	22,776	24,374	107.0
8月計	62,379	72,001	115.4	8,061	8,075	100.2	3,757	3,189	84.9	74,197	83,265	112.2
乗用車	41,452	48,090	117.5	7,672	7,757	101.1	2,544	2,261	89.0	51,668	58,710	113.6
貨物	20,927	23,312	111.4	389	318	81.7	1,213	925	76.3	22,529	24,555	109.0
累計	183,400	217,542	118.6	45,335	49,254	108.6	10,508	9,413	89.6	209,333	243,309	116.2
乗用車	74,108	94,972	128.2	13,429	14,717	109.6	4,067	4,040	99.3	91,604	113,729	124.2
貨物	109,292	122,570	112.1	1,906	1,637	85.9	6,441	5,373	83.4	117,729	129,580	110.1

各店が販売する小売品別の月別売上高

区分	百貨店			百貨店外		
	62年	63年	63/62	62年	63年	63/62
3月	136,311	146,895	107.8	147,304	166,738	112.7
乗用車	136,311	146,895	107.8	147,304	166,738	112.7
貨物	—	—	—	—	—	—
4月計	281,291	307,615	109.2	—	—	—
乗用車	281,291	307,615	109.2	—	—	—
貨物	—	—	—	—	—	—
5月計	416,414	475,005	113.2	—	—	—
乗用車	416,414	475,005	113.2	—	—	—
貨物	—	—	—	—	—	—
6月計	459,251	485,442	105.8	—	—	—
乗用車	459,251	485,442	105.8	—	—	—
貨物	—	—	—	—	—	—
7月計	502,885	510,465	101.6	—	—	—
乗用車	502,885	510,465	101.6	—	—	—
貨物	—	—	—	—	—	—
8月計	605,505	609,825	100.7	—	—	—
乗用車	605,505	609,825	100.7	—	—	—
貨物	—	—	—	—	—	—
合計	1,947,456	1,750,255	89.9	—	—	—

## 統計資料

第一種函館市内大規模小売店舗売上高 (10店) 昭和63年8月

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	2,273,789	74.0	104.1
身用品	503,279	96.8	112.1
雑貨	624,129	100.2	105.2
家庭用品	669,079	93.9	98.9
食料品	1,917,981	97.2	104.1
食堂・喫茶	215,394	115.6	102.2
サピス	100,891	92.7	152.9
その他	421,373	61.9	106.9
総計	6,725,915	85.4	104.8

\*10店とは樺二森屋、九井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ホリタショップパズラザ湯の川店の各店をいう。

経済の窓

函館市  
灯油・ガソリン価格動向  
(昭和63年9月現在)

青函トンネル開通後の  
旅客・物流動向  
(昭和63年8月現在)

函館市では、毎月家庭用灯油・ガソリン等の小売価格調査を実施していますが、最近の動向について概要をお知らせします。

63年9月現在の灯油1リットル当たりの平均価格は35.37円で前年同月より19.5%の値下がり、18リットル缶(配達料含む)では658.47円で同19.3%値下がりしている。また、ガソリン1リットル当たりの平均価格は現金売りが117.36円で前年同月より6.7%値下がり、チケット売りでも118.00円で同6.8%値下がりした。

石油製品価格は、ここ数年の円高傾向による原油安にともない毎月2ケタの前年割れが続き、9月現在では、60年平均の半額近い値下がりとなっている。またガソリン価格については、各社間の競合が影響し、値下がりが続く気配をみせている。

次に、函館市に於ける青函トンネル開通後(昭和63年4月から8月まで)の旅客・物流動向の調査結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

津軽海峡横断線およびフェリー輸送人員の前年比較

(単位:人、%)

区 分	連絡船・津軽海峡線			フェリー輸送人員											
	62年	63年	63/62	函館～青森			函館～大間			函館～野辺地			合 計		
	62年	63年	63/62	62年	63年	63/62	62年	63年	63/62	62年	63年	63/62	62年	63年	63/62
3月13日～3月31日	92,076	160,410	174.2	2,461	4,676	190.0	1,317	1,454	110.4	169	184	108.9	3,947	6,314	160.0
4月 計	93,360	189,006	202.5	9,153	16,772	170.2	2,687	3,219	119.8	778	716	92.0	13,318	20,707	155.5
5月 計	271,716	363,016	133.6	25,712	45,049	175.2	6,905	7,975	115.5	1,122	1,940	172.9	33,739	54,964	162.9
6月 計	222,287	314,680	141.6	19,111	47,316	247.6	9,139	10,710	117.2	943	2,361	250.4	20,193	60,387	296.9
7月 計	206,529	318,906	154.4	28,488	41,981	147.4	9,269	12,349	133.2	1,478	1,049	71.0	39,235	55,379	141.1
8月 計	476,682	469,785	98.6	103,032	123,653	120.0	25,907	30,454	117.2	7,531	6,090	80.9	136,550	160,197	117.3
累 計	1,362,650	1,815,963	133.3	189,857	279,447	148.1	55,304	66,161	119.6	12,021	12,340	102.7	255,982	357,948	139.8

(注) 1 ( ) は、連絡船臨時運行を含む。  
2 63年3月13日の連絡船輸送人員14,371人は含まない。

函館空港乗降客数の前年比較

(単位:人、%)

区 分	函館～東京			函館～名古屋			函館～仙台			函館～千歳		
	62年	63年	63/62	62年	63年	63/62	62年	63年	63/62	62年	63年	63/62
3月13日～3月31日	37,360	39,079	104.6	2,272	2,614	115.1	1,448	1,501	103.7	9,078	9,314	102.6
4月 計	41,169	45,686	111.0	3,529	3,728	105.6	1,806	1,818	100.7	11,960	13,670	114.3
5月 計	62,350	67,464	108.2	5,948	5,547	93.3	4,076	3,256	79.9	14,524	15,587	107.3
6月 計	86,672	91,701	105.8	8,417	9,581	113.8	5,655	5,078	89.8	15,417	16,951	110.0
7月 計	92,508	103,649	112.0	11,582	11,109	95.9	6,217	5,948	95.7	16,396	22,186	135.3
8月 計	122,501	130,814	106.8	16,888	17,338	102.7	6,213	5,752	92.6	20,301	22,648	111.6
累 計	442,560	478,393	108.1	48,636	49,917	102.6	25,415	23,353	91.9	87,676	100,356	114.5

区 分	函館～丘珠			函館～虻田			函館～秋田			合 計		
	62年	63年	63/62	62年	63年	63/62	62年	63年	63/62	62年	63年	63/62
3月13日～3月31日	4,185	5,461	130.5	496	376	75.8	—	—	—	54,839	58,345	106.4
4月 計	7,274	9,088	124.9	562	538	95.7	—	—	—	66,300	74,528	112.4
5月 計	8,809	9,521	108.1	363	352	97.0	388	315	81.2	96,458	102,042	105.8
6月 計	9,570	9,996	104.5	422	392	92.9	445	334	75.1	126,598	134,033	105.9
7月 計	10,319	10,459	101.4	562	831	147.9	493	386	78.3	138,077	154,568	111.9
8月 計	10,839	10,461	96.5	1,406	1,201	85.4	729	587	80.5	178,877	188,801	105.5
累 計	50,996	54,986	107.8	3,811	3,690	96.8	2,055	1,622	78.9	661,149	712,317	107.7